

# 防 災 編

---

# 第1章 災害の発生状況

## 1 平成23年中の災害発生状況

### (1) 人的被害

死者7人、重傷者25人、軽傷者30人

### (2) 住家被害

全壊2棟、半壊2棟、一部破損246棟、床上浸水17棟、床下浸水130棟

第1表 平成23年中の災害発生状況

発生年月日 区分		災害名	大雪	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨	地震	大雪	計	
			1~3月	5/10	5/29	7/7	7/19	8/19	9/3	9/21	11/18		12月
人的被害	死者	人	7									7	
	行方不明者	人										0	
	負傷者	重傷	人	22							1	2	25
		軽傷	人	29								1	30
住家被害	全壊	棟	2									2	
		世帯	2									2	
		人	3									3	
	半壊	棟	2										2
		世帯	2										2
		人	3										3
	一部破損	棟	246										246
		世帯	246										246
		人											0
	床上浸水	棟	1		13	1		2					17
		世帯	1		12								13
		人			31								31
	床下浸水	棟	6		55	11		57		1			130
		世帯	6		55	1		2					64
		人	17		140			8					165
非住家	公共建物	棟	1		4				1	3		9	
	その他	棟	43		2			8				53	
その他	田	流失・埋没	ha			1						1	
		冠水	ha			28						28	
	畑	流失・埋没	ha									0	
		冠水	ha									0	
	学校	箇所			1							1	
	病院	箇所										0	
	道路	箇所		3	215				3	10		231	
	他	橋りょう	箇所			1						1	

発生年月日		災害名	大雪	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨	地震	大雪	計
			1~3月	5/10	5/29	7/7	7/19	8/19	9/3	9/21	11/18	12月	
区分													
そ の 他	河川	箇所			70						3		73
	港湾	箇所											0
	砂防	箇所			2								2
	清掃施設	箇所			2								2
	崖くずれ	箇所			6								6
	鉄道不通	箇所			9								9
	被害船舶	隻											0
	水道	戸											0
	電話	回線			61								61
	電気	戸	80		37								117
火災発生	ガス	戸											0
	建物	件											0
	危険物	件											0
	その他	件											0
	り災世帯数	世帯	5	0	12	0	0	0	0	0	0	0	17
	り災者数	人	6	0	31	0	0	0	0	0	0	0	37
	公立文教施設	千円	5,222		4,070								9,292
	農林水産業施設	千円	26,150	22,301	199,731	9,952		14,793		11,328			284,255
	公共土木施設	千円	0	1,108	449,081	2,581							452,770
	その他の公共施設	千円	1,931	1,772	70,773				198	1,600			76,274
	小計	千円	33,303	25,181	723,655	12,533	0	14,793	198	12,928	0	0	822,591
	公共施設被害市町村数	団体	13	3	8	2	1	3	2	5	1	2	40
そ の 他	農産被害	千円	2,097		51,705								53,802
	林産被害	千円											0
	畜産被害	千円											0
	水産被害	千円											0
	商工被害	千円											0
	その他	千円	794										794
	被害総額	千円	36,194	25,181	775,360	12,533	0	14,793	198	12,928	0	0	0
都道府県	設置	なし											
災害対策本部	解散	なし											
災害対策本部設置市町村		なし											
災害救助法適用市町村		なし											
消防職員出動延人数	人	51人	27人	144人	人	24人	人	36人	77人	人	人	人	0
消防団員出動延人数	人	2人	7人	515人	人	人	人	人	32人	人	人	人	0

## 2 過去5年間の災害発生状況（平成19年～23年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2007 (平19) 2.15	高波	(1)人的被害 なし (2)住家被害 床上浸水1棟 (3)り災 り災世帯 1世帯 り災者 2人	15日09時、北海道西方海上に発達した低気圧があり東進した。一方東シナ海に中心を持つ高気圧が日本付近に張り出していた。 このため日本付近は強い冬型の気圧配置となっていた。沿岸では、大しけとなった。
2007 (平19) 5.10	暴風	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)住家被害 なし (3)非住家被害 公共建物 3棟 その他 4棟 (4)公立文教施設被害 12,190千円 (5)その他公共施設被害 1,095千円 (6)その他の被害 716千円 (7)被害総額 14,001千円	前線を伴った低気圧が、若狭湾から県内を通過し東進した。このため嶺南地方では低気圧通過直後一時的に北よりの暴風となった。  (日最大瞬間風速) 福井 23.3m/s(北北西) 16時11分 敦賀 31.4m/s(北) 16時15分
2007 (平19) 6.22	大雨	(1)人的被害 なし (2)住家被害 なし (3)農林水産業施設被害 6,149千円	22日09時、東北南部から北陸地方を通過して東シナ海にのびる梅雨前線は、日中南下し、県内を通過したため、短時間に強い降水となった。 (日最大1時間降水量) 福井20.0ミリ、敦賀8.5ミリ、 大野市九頭竜20ミリ、勝山18ミリ (日降水量) 福井86.5ミリ、敦賀44.0ミリ、 大野市九頭竜97ミリ、勝山90ミリ
2007 (平19) 6.29～ 6.30	大雨	(1)人的被害 なし (2)住家被害 なし (3)農林水産業施設被害 11,710千円 (4)公共土木施設被害 3,000千円 (5)被害総額 14,710千円	29日09時、能登沖に前線を伴った低気圧があり、15時には秋田付近、21時には三陸沖に進んだ。これに伴い低気圧からのびる寒冷前線が県内を通過したため、29日に嶺北地方を中心に短時間に激しい降水となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 福井28.0ミリ、敦賀20.0ミリ、大野25ミリ、勝山で25ミリ、池田町板垣で30ミリ、大野市九頭竜で33ミリ (日降水量(29日)) 福井71.5ミリ、敦賀35.5ミリ、大野81ミリ、勝山100ミリ、池田町板垣78ミリ、大野市九頭竜99ミリ
2007 (平19) 7.14～ 7.15	台風 4号	(1)人的被害 なし (2)住家被害 なし (3)その他の被害 98千円	14日には台風第4号が大隅半島に上陸し、その後本州の南岸を東進した。15日は南から暖かく湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となった。 14日～15日にかけての降水量は、大野市九頭竜で123ミリを観測した他、県内各地で50ミリ前後となった。

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2008 (平20) 6.28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 2,500千円	28日21時には前線を伴った低気圧が対馬海峡にあって東に進み、29日には前線が西日本から東海地方に停滞した。 このため、県内では強い雨が降り、奥越では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 大野23.0ミリ、越廼22.5ミリ、武生20.0ミリ (日降水量(29日)) 九頭竜118.5ミリ、大野89.0ミリ、 今庄86.0ミリ、勝山84.5ミリ
2008 (平20) 7.8	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水2棟 (3) 災害世帯 2世帯 (4) 農林水産業施設被害 1,000千円	上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、午前中を中心に短時間に激しい雨となった。  (最大1時間降水量(8日)) 美浜47.0ミリ、福井44.0ミリ、美山40.5ミリ
2008 (平20) 7.27	突風	人的被害 死者 1人 重傷 1人 軽傷 10人	日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、積乱雲が発達し、積乱雲通過時に突風が発生した。 突風をもたらした現象はガストフロント、強さは藤田スケールでF0と推定される。  (日最大風速(27日)) 敦賀 16.2m/s(西北西) 12時56分 (日最大瞬間風速(27日)) 敦賀 29.7m/s(西北西) 12時49分
2008 (平20) 7.28	大雨・ 落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 公共施設被害 133千円	山陰沖から能登半島にかけて前線が停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、嶺北地方を中心に雷を伴い短時間に非常に激しい雨となった。  (日最大1時間降水量(28日)) 越廼67.5ミリ、武生51.5ミリ、今庄36.5ミリ (日降水量(28日)) 越廼89.5ミリ、武生74.5ミリ、今庄63.5ミリ
2008 (平20) 8.9	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 3,413千円	大気の状態が不安定となり、嶺北地方で雨雲が発達した。福井市では夜、雷を観測した。  (日最大1時間降水量(9日)) 武生5.0ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2008 (平20) 8.28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水1棟 (3) 罹災世帯 1世帯 (4) 農林水産業施設被害 2,000千円	福井県付近に前線が停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線活動が活発となった。 このため、嶺北地方では非常に激しい雨が降り、総降水量が100ミリを超える大雨となった。  (日最大1時間降水量(28日)) 大野64.5ミリ、勝山58.5ミリ、板垣56.5ミリ (日降水量(28日)) 板垣113.5ミリ、勝山97.5ミリ、大野89.0ミリ
2008 (平20) 9.3	大雨・ 落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 農林水産業施設被害 2,822千円 (4) 公共施設被害 794千円	2日21時には日本海と四国沖に低気圧があって共に北東に進む。 その後3日9時頃には寒冷前線が福井県を通過した。 このため、3日未明から朝にかけて大気の状態が不安定となり、嶺南地方では雷を伴い非常に激しい雨となった。 また、県内では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 美浜52.0ミリ、春江40.5ミリ、武生39.0ミリ (日降水量(3日)) 美浜147.5ミリ、武生123.5ミリ、 春江104.0ミリ
2008 (平20) 12.18	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 21千円	18日は冬型の気圧配置となり上空には寒気が入ったため大気の状態が不安定となった。 福井市では18日朝から昼過ぎにかけて雷を観測した。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜9.5ミリ、武生6.5ミリ
2009 (平21) 6.22	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水5棟 (3) 公共土木施設被害 596千円	22日には活発な梅雨前線の影響で嶺北を中心に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(22日)) 春江43.5ミリ、三国28.0ミリ、 越廼26.5ミリ (日降水量(22日)) 春江122.0ミリ、三国117.5ミリ、 越廼114.5ミリ
2009 (平21) 8.2	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水20棟	上空の寒気や湿った空気が流れ込んだ影響により、大気の状態が不安定となり、2日未明からまとまった雨となった。 (日最大1時間降水量(2日)) 福井56.5ミリ、大飯30.5ミリ (日降水量(2日)) 福井94.0ミリ、大飯63.5ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2009 (平21) 10.7~ 10.8	台風 18号	(1) 人的被害 軽傷 2人 (2) 住家被害 一部損壊2棟 床下浸水1棟 (3) 非住家被害 その他1棟 (4) 農産被害 16,276千円 (5) その他被害 50千円	7日には台風第18号が四国の南海上に進み、8日5時過ぎには知多半島付近に上陸し、その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を進み、同日夕方に太平洋に達した。 7日~8日にかけての降水量は、おおい町名田庄納田で230ミリ、小浜市遠敷で126ミリを観測した。
2009 (平21) 12.17~ 3.31	大雪	(1) 人的被害 死者 1人 重傷 9人 軽傷 21人 (2) 住家被害 半壊1棟 一部損壊7棟 床上浸水1棟 床下浸水6棟 (3) 非住家被害 その他4棟	中旬後半から下旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し冬型の気圧配置となった。このため、奥越を中心大雪となった。 17日~20日にかけての降雪量の合計は嶺北の平野部では30~60センチ、大野市九頭竜では164センチとなった。最深積雪は20日に大野市九頭竜で143センチを観測した。
2010 (平22) 3.21	強風	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 その他1棟	日本付近は冬型の気圧配置となり西よりの風が強まった。発達した低気圧から伸びる寒冷前線が県内を通過した影響で、県内全域で強風が吹いた。 (日最大風速) 勝山 14.3m/s(北西) 2時00分 (日最大瞬間風速) 勝山 24.6m/s(西北西) 1時53分
2010 (平22) 9.15~ 9.16	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水16棟	日本海の低気圧と本州南岸の低気圧の影響で15日から16日にかけて大雨となった。福井市での15日正午から16日午後4時までの総雨量は125.5ミリに達した。 (日最大1時間降水量(16日)) 福井29.0ミリ (日降水量(16日)) 福井108.0ミリ
2010 (平22) 11.29	強風	(1) 人的被害 重傷 1人 (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 その他3棟	上空に強い寒気が入り、大気の状態が不安定となった。 竜巻注意情報が発令され、局地的に突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 6.1m/s(南南東)12時42分 越廼 7.4 m/s(西北西)14時31分 (日最大瞬間風速) 福井 8.2m/s(南南西)12時35分 越廼 12.7m/s(西北西)11時04分
2010 (平22) 12.3	強風	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 一部損壊1棟 (3) 非住家被害 その他2棟	前線を伴った低気圧が発達しながら通過し、大気の状態が不安定となった。 気圧の谷が西から通過したため、各地で突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 13.4m/s(西南西)13時23分 小浜 11.6m/s(西) 19時14分 (日最大瞬間風速) 福井 26.3m/s(西南西)13時16分 小浜 19.4m/s(西北西)19時08分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2010 (平22) 12.25 ～ 2011 (平23) 3.31	大雪	(1) 人的被害 死者 7人 重傷 22人 軽傷 32人 (2) 住家被害 全壊 2棟 半壊 2棟 一部破損 246棟 床上浸水 1棟 床下浸水 6棟 (3) 非住家被害 公共建物 1棟 その他 43棟 (4) 公共施設被害 33,303千円 (5) 農産被害 2,097千円	北日本上空に寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。 北陸地方と北日本の日本海側を中心に大雪や猛吹雪の恐れがあるとして、大雪、なだれ、路面凍結、突風、波浪などへの警戒が必要となった。
2011 (平23) 5.10	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 公共施設被害 25,181千円	日本海の低気圧が北日本を通過し、前線が本州付近をゆっくりと南下した。 (日最大1時間降水量(10日)) 福井14.5ミリ、大野14.5ミリ、敦賀28.0ミリ (日降水量(10日)) 福井87.5ミリ、大野111.5ミリ、敦賀112.0ミリ
2011 (平23) 5.29～30	台風 2号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 13棟 床下浸水 55棟 (3) 非住家被害 公共建物 4棟 その他 2棟 (4) 公共施設被害 723,655千円 (5) 農産被害 51,705千円	本州南岸に停滞した梅雨前線と台風第2号から変わった低気圧の影響により、嶺南を中心に大雨となり、土砂災害や浸水による被害が発生した。 (日最大1時間降水量(30日)) 小浜34.5ミリ、大飯54.5ミリ (日降水量(30日)) 小浜167.5ミリ、大飯218.5ミリ
2011 (平23) 7.7	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 11棟 (3) 公共施設被害 12,533千円	梅雨前線が北上。発達した雨雲は次第に東進、夜に北陸で激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(7日)) 福井20.5ミリ、勝山30.5ミリ (日降水量(7日)) 福井80.5ミリ、勝山149.5ミリ
2011 (平23) 8.19	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 2棟 床下浸水 57棟 (3) 非住家被害 その他 8棟 (4) 公共施設被害 14,793千円	前線がゆっくり南下。前線上の波動が東進、朝までは北陸西部で非常に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(19日)) 福井44.5ミリ、勝山33.5ミリ (日降水量(19日)) 福井84.5ミリ、勝山57.0ミリ
2011 (平23) 9.3	台風 12号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 公共建物 1棟 (4) 公共施設被害 198千円	台風第12号の影響により、大雨や強風となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 小浜20.5ミリ (日降水量(3日)) 小浜96.0ミリ



年月日	種類	被害状況	気象状況
2011 (平23) 9. 21	台風 15号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水 1棟 (3) 非住家被害 公共建物 3棟 (4) 公共施設被害 12,928千円	本州付近に停滞した秋雨前線と台風第15号の北上に伴い、嶺南や嶺北北部を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(21日)) 福井19.0ミリ、小浜21.5ミリ (日降水量(21日)) 福井94.5ミリ、小浜122.5ミリ
2011 (平23) 12. 25 ~ 12. 31	大雪	(1) 人的被害 重傷 2人 軽傷 1人 (2) 住家被害 なし	平成23年12月後半から平成24年2月初めにかけて、北日本から西日本にかけては低温となり、日本海側を中心に記録的な積雪となった。この期間、シベリア高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置が強まった。

## 第2章 平成23年の天候概況

### 1 天候の特徴

冬は記録的な大雪、夏はかなり高温、5月と9月に大雨

#### ◇ 年（1月～12月）の概況

気温は、夏以降は高い傾向となりましたが、年平均気温は福井、敦賀共に平年並となりました。年降水量は、福井、敦賀共に平年よりかなり多くなりました。日照時間は、2月と9月に平年よりかなり多くなり、年間日照時間は福井で平年より多く、敦賀で平年並となりました。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	14.6	+0.1	平年並	2670.0	119	かなり多い	1691.0	104	多い
敦賀	15.5	+0.2	平年並	2940.5	138	かなり多い	1603.9	103	平年並

※平年値は、1981年～2010年の30年平均値です。

#### ◇ 冬（2010年12月～2011年2月）～ 記録的な大雪・多照～

12月は、上旬は短い周期で天気が変わり、中旬以降は、寒気や冬型の気圧配置の影響により、雪や雨の日が多くなりました。下旬は嶺南を中心に大雪となりました。1月は、寒気の南下により、雪や雨の日が多くなりました。特に29日から31日にかけて強い寒気の影響で大雪となりました。2月は、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響により雪や雨の降った日が多くなりましたが、中旬の終わりから下旬前半は高気圧に覆われ晴れた日が続きました。

冬の平均気温は、福井、敦賀共に平年より低くなりました。降水量は、福井は平年よりかなり多く、敦賀は平年より多くなりました。日照時間は、福井、敦賀共に平年より多くなりました。

#### ◇ 春（3～5月）～ 低温・多雨・寡照～

3月は、上旬と下旬の前半は寒気や低気圧の影響により、雪や雨の日が多くなりました。気温は変動が大きく、下旬は低温傾向となりました。4月は、上旬と中旬は晴れた日が続きましたが、下旬は雨の日が多くなりました。なお、気温は中頃以降、低温傾向となりました。5月は、上旬と中旬は晴れた日が続きましたが、上旬の終わり頃と下旬は前線や台風第2号から変わった低気圧の影響で雨となり、特に29日～30日にかけては嶺南を中心に大雨となりました。

春の平均気温は、福井は平年よりかなり低く、敦賀は平年より低くなりました。降水量は、福井、敦賀共に平年よりかなり多くなりました。日照時間は、福井、敦賀ともに平年より少なくなりました。

◇ 夏(6~8月) ~ かなり高温 ~

6月は、高気圧に覆われ晴れた日が続きましたが、中旬以降、梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。上旬と下旬は高温傾向となり、特に下旬は猛暑日となった所があるなど厳しい暑さが続きました。7月は、南からの湿った空気や寒気の影響で雨が降った日がありましたが、中旬は太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が続きました。8月は、前半は、高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、後半は湿った空気や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。梅雨入り(6月18日ごろ)は平年(6月12日ごろ)より遅くなりましたが、梅雨明け(7月9日ごろ)は平年(7月24日ごろ)よりかなり早くなりました。

平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高くなりました。降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より少なくなりました。日照時間は福井、敦賀共に平年並となりました。

◇ 秋(9~11月) ~ 高温・多照 ~

9月は、上旬の前半と中旬の後半から下旬の前半にかけては、台風第12号と第15号や湿った空気が流れ込んだ影響により雨が降りました。特に19日~21日にかけては嶺南や嶺北北部を中心に大雨となりました。10月は、上旬と下旬は周期的に天気が変わりました。中旬は中頃を中心に雨となりましたが、晴れた日も続きました。11月は、上旬と下旬は周期的に天気が変わりました。中旬は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

秋の平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高くなりました。降水量は、福井で平年並、敦賀で平年よりかなり多くなりました。日照時間は福井、敦賀共に平年よりかなり多くなりました。

◇ 12月 ~ 寡照・下旬は大雪 ~

12月上旬と中旬は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。下旬は強い冬型の気圧配置と寒気の影響で大雪となった所がありました。

平均気温は、福井、敦賀共に平年より低く、降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年よりかなり多く、日照時間は、福井で平年より少なく、敦賀で平年よりかなり少なくなりました。

◇ 台風

発生数は21個(平年値25.6個)となり、上陸数は3個(平年値2.7個)、接近数は3個(平年値2.5個)となりました。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生					2	3	4	3	7	1		1	21	25.6
上陸							1		2				3	2.7
北陸地方に 接近した台風							1		2				3	2.5

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としています。

## 2 月別気象概況

### ◇ 2011年（平成23年）月別気象概況

1月：寒気や冬型の気圧配置の影響により、雪や雨の日が多くなりました。中旬ごろからは強い寒気の影響で大雪となった日があり、降雪量は平年より多くなりました。

月平均気温は福井で平年より低く、敦賀は平年よりかなり低く、月降水量は、福井、敦賀共に平年より多くなりました。月間日照時間は、福井は平年より少なく、敦賀は平年よりかなり少なくなりました。

2月：期間の前半は、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響により曇りや雪、雨の日が多くなりましたが、中旬の終わりから下旬前半にかけては、高気圧に覆われ晴れた日が続きました。

月平均気温は、福井は平年並、敦賀は平年より高く、月降水量は、福井は平年よりかなり少なく、敦賀で平年より少なくなりました。月間日照時間は、福井、敦賀共に平年よりかなり多くなりました。

3月：上旬と下旬の前半を中心に寒気や低気圧の影響で雪や雨の日が多くなりました。気温は変動が大きく、下旬は低温傾向となりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり低く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

4月：上旬と中旬は晴れた日が続きましたが、下旬は雨の日が多くなりました。なお、気温は中頃以降、低温傾向となりました。

月平均気温は、福井で平年よりかなり低く、敦賀で平年より低く、月降水量は、福井で平年並、敦賀で平年より多く、月間日照時間は、福井で平年並、敦賀で平年より少なくなりました。

5月：上旬と中旬は高気圧に覆われ晴れた日が続きましたが、10日から11日にかけては、前線活動が活発となり、2日間の総降水量は多い所で敦賀で199.0mm、越廼で197.0mmを観測しました。

下旬は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなりました。特に29日から30日にかけては、台風第2号から変わった低気圧の影響で大雨になりました。2日間の総降水量は多い所で大飯で390.5mm、小浜で293.0mmを観測しました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井、敦賀共に平年よりかなり多く、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年より少なくなりました。

6月：上旬は高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、中旬と下旬は梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、上旬と下旬は高温傾向となり、特に下旬は猛暑日となった所があるなど厳しい暑さが続きました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高く、月降水量は、福井で平年よりかなり少なく、敦賀で平年より少なく、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並となりました。

7月：上旬と下旬は、南からの湿った空気や寒気の影響で雨が降った日がありましたが、中旬は期間の終わりを除き、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が続きました。

月平均気温は、福井で平年よりかなり高く、敦賀では平年より高く、月降水量は、福井、敦賀共に平年並となり、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年より多くなりました。

8月：月の前半は、高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、月の後半は湿った空気や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より高く、月降水量は、福井で平年よりかなり多く、敦賀で平年並、月間日照時間は、福井、敦賀共に平年並になりました。

9月：上旬の前半と中旬の後半から下旬の前半にかけては、台風や湿った空気が流れ込んだ影響により雨が降りましたが、その他の日は高気圧に覆われ晴れた日が続きました。3日は10時前に台風第12号が高知県東部に上陸し、その後、18時頃に岡山県南部に再上陸し、4日の未明に山陰沖に進みました。降り始めの2日12時から5日12時までの総降水量は、小浜で215.5mm、美浜で199.0mmなどを観測しました。また、21日は14時頃に台風第15号が静岡県浜松市付近に上陸し、その後、関東地方を縦断し21日の夜遅くに関東の東海上に抜けました。降り始めの19日02時から22日10時までの総降水量は、大飯で287.0mm、三国で252.5mmなどを観測しました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より高く、月降水量は、福井で平年より多く、敦賀では平年よりかなり多く、月間日照時間は福井、敦賀共に平年よりかなり多くなりました。

10月：上旬と下旬は周期的に天気が変わりました。中旬は中頃を中心に雨となりましたが晴れた日も続きました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年並、月降水量は、福井で平年より少なく、敦賀では平年より多く、月間日照時間は福井、敦賀共に平年より多くなりました。

11月：上旬と下旬は周期的に天気が変わりました。中旬は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年よりかなり高く、月降水量は、福井で平年並、敦賀では平年より多く、月間日照時間は福井、敦賀共に平年より少なくなりました。

12月：気圧の谷や寒気の影響で雨や雪の日が多くなり、下旬は嶺北の山地を中心に大雪となった所がありました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より低く、月降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年よりかなり多く、月間日照時間は福井で少なく、敦賀で平年よりかなり少なくなりました。

## 第3章 防災訓練の実施状況

### I 総合防災訓練

平成23年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

#### 1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度は若狭町に主会場を置き、地震や津波などの大規模災害に対応できる広域的な防災体制の確立を図る。

#### 2 日時

平成23年 8月28日(日) 8時30分～12時00分

#### 3 場所

- (1) 主会場 麻生野土砂採取場跡地(若狭町麻生野)
- (2) 海上訓練会場 若狭町小川地区沖
- (3) 住民避難訓練会場 鳥羽小学校、小川集落センターほか若狭町一円

#### 4 主催 福井県、若狭町

#### 5 訓練参加機関(順不同)

##### (1) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、敦賀海上保安部、小浜海上保安署、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所

##### (2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第23航空隊、航空自衛隊第6航空団、航空自衛隊小松救難隊

##### (3) 応援県関係

富山県(防災航空隊)、石川県、滋賀県、京都府

##### (4) 警察関係

福井県警察本部、小浜警察署、敦賀警察署

##### (5) 消防関係

福井県消防長会、若狭消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、鱒江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、上中消防団、三方消防団、若狭地区防火推進協会、鳥羽地区自衛消防団、上中婦人消防隊

##### (6) 医療関係

(社)福井県医師会、(社)小浜医師会、(社)三方郡医師会、日本赤十字社福井県支部、福井

赤十字病院、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、若狭町赤十字奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部附属病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井県腎友会

(7) 交通運輸関係

(社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、(社)日本自動車連盟、西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速道路(株)金沢支社

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社、ドコモエンジニアリング北陸(株)、KDDI(株)北陸総支社、関西電力(株)京都支店、関西電気保安協会京都支部、若狭町建設業会、若狭町管工事組合、(社)福井県エルピーガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(9) 各種団体

郵便局(株)北陸支社、北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、NPO法人日本災害救援飛行協会、NPO法人災害救助犬ネットワーク、若狭三方漁業協同組合、鳥羽小学校

(10) 地元地区関係(若狭町住民)

(11) 福井県

(12) 若狭町

## 6 訓練種目(36種目)

交通整理・避難誘導訓練、避難所開設・運営訓練、住民避難訓練、漁船避難訓練、海上漂流者等救助訓練、避難住民海上輸送訓練、土砂災害対応訓練、固定翼機による上空からの被害状況調査・通信訓練、セスナによる災害情報収拾訓練、オフロードバイクによる状況確認・衛星携帯電話による情報伝達訓練、自主防災組織による火災防ぎょ訓練、道路啓開(開通)訓練、応急救護段階における行方不明者の搜索訓練、炊き出し訓練、土砂災害現場における救出救助訓練、県下9消防本部集結訓練、集団災害救出訓練、座屈建物救出訓練、5階鉄筋建物火災防ぎょ訓練、応急救助設置・運営訓練、血液の緊急輸送訓練、医薬品の緊急輸送訓練、水防訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練、応急生活物資供給訓練、応急生活物資空輸供給訓練、LPガス漏洩復旧訓練、水道管復旧訓練、電力施設復旧訓練、通信訓練、緊急時職員参集訓練、災害対策本部設置・運営訓練、福祉避難所への情報伝達訓練、隣接地区待機要請および救護班派遣訓練、情報伝達訓練、各種体験・展示

## 7 災害想定

訓練は次の2つの想定で実施する。

(想定1)

秋田県沖を震源とするマグニチュード7.7の地震が発生した。その後、福井県沿岸に津波警報が発表され、高さ約2.5mの津波が若狭湾沿岸部に到達し、漁船の漂流や海中転落者など被害が発生した。

(想定2)

三方断層を震源とするマグニチュード7.2の直下型地震が発生し、若狭町で震度6強を観測した。この地震によって、震源地の若狭町では、家屋の倒壊や火災が多数発生するとともに、電気・水道・電話等のライフラインが麻痺し、甚大な被害が発生した。

## II 原子力防災総合訓練

平成23年度原子力防災総合訓練を、次のとおり実施した。

### 1 目 的

災害対策基本法および原子力災害対策特別措置法に基づき、国、県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力防災訓練を実施し、緊急時における通信連絡体制の確立、緊急時医療活動等の災害対策の習熟と、防災関係機関相互の協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解の促進を図ることを目的とする。

2 主 催 福井県、敦賀市、美浜町、南越前町

3 実 施 日 平成24年3月18日(日)

4 訓練対象発電所 日本原子力発電(株) 敦賀発電所2号機

### 5 参加・協力機関(順不同)

#### (1) 国の関係機関等

##### ア 本省

内閣府原子力安全委員会、経済産業省原子力安全・保安院、地域原子力安全統括管理官事務所(若狭地域担当)、敦賀原子力保安検査官事務所、美浜原子力保安検査官事務所、大飯原子力保安検査官事務所、高浜原子力保安検査官事務所、文部科学省、総務省消防庁

##### イ 指定地方行政機関等

経済産業省中部近畿産業保安監督部、同中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局、同近畿経済産業局、中部管区警察局福井県情報通信部、文部科学省敦賀原子力事務所、厚生労働省福井労働局、国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所、同北陸地方整備局敦賀港湾事務所、同中部運輸局福井運輸支局、気象庁福井地方気象台、海上保安庁第八管区海上保安本部、同美保航空基地、敦賀海上保安部、福井海上保安署、小浜海上保安署、(独)原子力安全基盤機構、原子力緊急時支援・研修センタ

#### (2) 自衛隊関係

陸上自衛隊第10師団司令部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10戦車大隊、陸上自衛隊第10化学防護隊、陸上自衛隊第372施設中隊、陸上自衛隊第10飛行隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊第2ミサイル艇隊、海上自衛隊第23航空隊、航空自衛隊第6航空団、自衛隊福井地方協力本部

#### (3) 自治体関係

石川県、滋賀県、京都府、岐阜県、青森県、福井県内各市町

#### (4) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署、越前警察署



(5) 消防関係

敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、福井市消防局、永平寺町消防本部、福井県内各消防本部、敦賀美方消防組合敦賀消防団

(6) 医療機関関係

(社)福井県医師会、日本赤十字社福井県支部、(社)福井県放射線技師会、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、社会保険高浜病院、国立病院機構福井病院、レイクヒルズ美方病院、公立丹南病院、福井社会保険病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、市立三国病院、国立病院機構あわら病院、広島大学

(7) 報道機関

日本放送協会福井放送局、福井放送(株)、福井テレビジョン放送(株)、福井エフエム放送(株)、(株)嶺南ケーブルネットワーク、敦賀FM放送(株)、その他報道機関

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社

(9) 交通運輸関係

(社)福井県バス協会、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社、その他バス事業者

(10) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、敦賀市漁業協同組合、美浜町漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、大島漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合

(11) 原子力事業者関係

日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構、関西電力(株)、(財)原子力安全技術センター、原電情報システム(株)、原電事業(株)、関電プラント(株)

(12) 各種団体等

北陸地方非常通信協議会、敦賀市赤十字奉仕団 他

(13) 主催者

福井県、敦賀市、美浜町、南越前町

## 6 訓練想定

平成24年3月18日、若狭湾沖で地震が発生し、日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機において、全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、炉心損傷に至り排気筒から放射性物質が放出されるおそれが生じたという想定で、各種の応急活動を実施する。

## 7 訓練項目

### (1) 緊急時通信連絡訓練

ア 地震による地上系通信回線の不通のため、発電所から衛星電話による事故状況の通報連絡

- イ 県から県内全市町、消防機関へ事故状況の通報連絡
- ウ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、收受等
- エ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達
- オ 衛星車載局および携帯型映像伝送装置を利用した画像伝送
- カ ヘリコプターテレビ電送システム（ヘリテレ）を利用した画像伝送

(2) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県総合防災センターにおける災害対策本部等の運営および福井県敦賀原子力防災センターにおける県現地災害対策本部等の運営
- イ 関係市町における災害対策本部等の運営および福井県敦賀原子力防災センターにおける関係市町現地災害対策本部（災害連絡室）等の運営
- ウ 災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(3) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県敦賀原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議への参画
- ウ 国災害対策本部等との対策会議の実施
- エ 緊急事態対応方針決定会議への参画
- オ 原子力災害合同対策協議会への参画
- カ 各機能班への参画
- キ 現地災害対策本部等と各機能班との連携
- ク 福井県美浜原子力防災センターにおける後方支援の実施

(4) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県敦賀原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 知事による災害派遣要請
- ウ 住民の避難援助
- エ 避難者等の搜索
- オ 空中モニタリング支援
- カ 海上モニタリング支援

(5) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンターの設置・運営
- イ 待機施設の設置・運営および後方支援
- ウ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- エ 連続監視・拡散予測
- オ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理
- カ モニタリングカーによる陸上モニタリング
- キ 船舶による海上モニタリング
- ク ヘリコプターによる空中モニタリング

- ケ 高機能モニタリングカーによる環境試料測定
- コ 環境試料の採取・簡易測定・搬送および仮設機器の設置・運用・撤収
- サ オフサイトセンター機能班(放射線班)との連携

(6) 緊急被ばく医療措置訓練

- ア 緊急時医療本部等の運営
- イ 二州健康福祉センターにおける後方支援の実施
- ウ 医療資機材の搬送および点検
- エ 安定ヨウ素剤搬送および調剤
- オ スクリーニング
- カ 除染・検査、救急医療、救急搬送〔救急車、ヘリコプター〕
- キ 市立敦賀病院(初期被ばく医療機関)、県立病院緊急時医療対策施設(二次被ばく医療機関)、福井大学医学部附属病院(二次被ばく医療支援機関)への搬送
- ク 県立病院緊急時医療対策施設(二次被ばく医療機関)から専門医の現地派遣
- ケ 広島大学(三次被ばく医療機関)との連携
- コ 避難所における心とからだの健康相談窓口の設置
- サ 地域住民等に対する講習会の実施

(7) 住民避難・退避訓練

- ア 原子力緊急事態宣言発出に伴い、5 km圏住民の緊急避難
- イ 住民の自家用車による避難および誘導
- ウ 自衛隊車両、民間バス等による住民等の陸路からの避難・退避
- エ 防災関係機関のヘリコプターによる住民等の空路からの避難
- オ 海上保安庁巡視船、自衛隊艦艇等による住民等の海路からの避難
- カ 自衛隊車両、災害時要援護者搬送車両による災害時要援護者の避難・退避
- キ 避難区域内の現地防災情報センターの設置・運営
- ク SPEEDIを使用した屋内退避区域の指定

(8) 避難所等運営訓練

- ア 被災地住民の登録
- イ 避難住民への事故状況説明の実施
- ウ 避難所・救護所の設置運営
- エ 飲料水・飲食物の供給
- オ 災害用伝言ダイヤルの活用
- カ 避難所への原子力防災センター内画像等の伝送

(9) 広報訓練

- ア 報道機関への報道要請
- イ ケーブルテレビ、屋外拡声器、広報車、船舶、航空機等による地域住民等への広報

(10) 交通対策等措置訓練

- ア 交通規制措置（陸上・海上）
- イ 立入制限措置
- ウ 一時滞在者に関する情報収集および交通制限

(11) 避難地域に対する関係機関の対応訓練

- ア 県警察本部および海上保安庁のヘリコプターによる敦賀発電所周辺地域の上空調査
- イ 県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- ウ 陸上自衛隊の装輪装甲車、化学防護車による避難地域の偵察活動
- エ 海上保安庁巡視船および県警察本部警備艇による敦賀発電所周辺の海上警備

(12) 発電所の事故対応・復旧訓練

- ア 緊急安全対策（電源車接続による電源確保、消防車等による水源確保等）による原子炉の冷却機能回復訓練
- イ 緊急時対策室（免震構造建屋）での発電所緊急時対策本部の立ち上げ訓練
- ウ 本店、支援施設（敦賀市内）、プラントメーカーの支援体制の確立訓練
- エ 発電所から衛星電話による通報連絡訓練

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	19	20	21	22	23	
総合防災訓練	年度	平成19年8月26日(日)	平成20年9月7日(日) ※当日中止	平成21年10月18日(日)	平成22年8月29日(日)	平成23年8月28日(日)
	日時					
	場所	福井市下森田地区 (丸頭電川緑地多目的広場)	南越前町今庄365スキーム場	テクノポート福井 福井空港、福井県庁 他	春日野工業団地 奥越ふれあい公園 他	麻生野土砂採取場跡地 若狭町小川地区沖 鳥羽小学校 他
	主催	福井県、福井・坂井地域各市町	福井県、丹南地域各市町	近畿2府7県、各府県消防長会、 福井市、坂井市、あわら市、永平 寺町 他	福井県、大野市、勝山市	福井県、若狭町
	参加機関	77	78	200	77	80
	訓練種目	25	36	40	35	36
	想定	地震による災害	地震による災害 ※大雨・洪水警報発令のため、在民避難 訓練と防災研修会のみ実施	地震による災害	大雨と地震による災害	地震と津波による災害
	参加人員	2,800	480	3,600	1,600	5,400
	日時					
	場所					
石油コンビナート等 原子力防災訓練	総合防災訓練			近畿府県合同防災訓練 (上記)の中で実施		
	日時					
	場所					
	主催					
	参加機関					
	訓練種目					
	想定					
	参加人員					
	日時	平成19年11月18日(日)	平成20年10月25日(土)	平成21年11月22日(日)	平成22年10月26日(火)	平成24年3月18日(日)
	訓練対象施設	日本原子力発電(株) 敦賀発電所2号機	関西電力(株) 高浜発電所3号機	関西電力(株) 美浜発電所3号機	関西電力(株) 大飯発電所4号機	日本原子力発電(株) 敦賀発電所2号機
主催	福井県、敦賀市、美浜町、南越前町	福井県、高浜町、おおい町	福井県、美浜町、敦賀市	福井県、おおい町、小浜市、高浜町	福井県、敦賀市、美浜町、南越前町	
参加機関	115	120	120	120	120	
訓練種目	10	13	11	11	12	
想定	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出のおそれ	
参加人員	1,500	2,000	1,500	1,500	3,500	

#### Ⅳ 市町別自主防災組織の結成状況

平成24年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福井市	95,109	1,131	94,434	94,434	99.3%
敦賀市	27,695	84	2,670	22,479	81.2%
小浜市	11,697	90	985	6,076	51.9%
大野市	11,585	203	6,116	10,319	89.1%
勝山市	8,004	110	1,491	6,802	85.0%
鯖江市	21,755	149	7,103	20,907	96.1%
あわら市	9,895	61	2,182	6,121	61.9%
越前市	27,049	238	9,520	26,638	98.5%
坂井市	29,198	313	3,088	20,169	69.1%
永平寺町	5,978	90	3,298	5,501	92.0%
池田町	1,055	21	156	1,030	97.6%
南越前町	3,516	65	831	2,984	84.9%
越前町	7,264	45	861	4,870	67.0%
美浜町	3,701	19	2,677	2,091	56.5%
高浜町	4,065	5	102	291	7.2%
おおい町	3,143	9	381	808	25.7%
若狭町	4,974	96	1,478	4,398	88.4%
合計・ 平均	275,683	2,729	137,373	235,918	85.6%

※管内世帯数は、住民基本台帳人口に基づく人口、世帯数調べ（平成24年3月末現在）

## 第4章 平成23年度防災行政無線利用状況

### 概 況

昭和56年度から運用を開始した防災行政無線は、平成7年度から9年度に、デジタル多重無線回線や衛星回線による2ルート化を整備するとともに、衛星車載局の導入により、災害現場からの映像による情報伝達が可能となるなど通信体制を強化した。平成18、19年度には、60MHzから260MHzへの周波数移行を行い、衛星回線、多重無線回線、260MHzデジタル通信回線、260MHzヘリ用通信回線、150MHzアナログ移動回線で構成されるようになった。また、通常時においても、電話、FAX、行政情報ネットワークや各種テレメータにも活用されている。しかし、大部分の設備は、導入から15年が経過し老朽化が進むとともに部品の生産中止により修繕が困難な状況となっているため、再整備に向けた検討を行っている。

今後とも、災害時において防災行政無線を利用した情報収集・伝達が迅速に行えるよう、定期的に通信訓練を行うとともに、計画的な設備の更新を行っていく。また、全局を対象に機器の保守点検を実施するとともに、各局の防災行政無線担当者や防災関係機関等との連携を強化していく。

### 1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（平成24年4月1日現在）

〔固定系〕

区 分	現局数		現 設 置 場 所
	地上系	衛星系	
統 制 局	1	1	県庁
中 継 局	7		越知山 (越前町大谷寺) 久須夜ヶ岳 (小浜市堅海) 村国山 (越前市村国) 陣ヶ岡 (坂井市三国町陣ヶ岡) 八ツ杉 (越前市別印) 岳山 (美浜町早瀬) 青葉山 (高浜町中山)
支 部 局	9		9土木事務所 (福井、三国、大野、勝山、鯖江、武生、朝日、敦賀、小浜)
合 庁 局	3		3合同庁舎 (福井、丹生、坂井)
ダ ム 管 等 局	11		原子力センター (敦賀市吉河) 龍ヶ鼻ダム管 (坂井市丸岡町上竹田) 龍ヶ鼻ダム下流事務所 (坂井市丸岡町長畝) 永平寺ダム (永平寺町志比) 笹生川ダム管 (大野市中野) 笹生川堰堤 (大野市本戸) 広野ダム管 (南越前町今庄) 広野堰堤 (南越前町広野) 榊谷ダム (南越前町宇津尾) 浄土寺川ダム (勝山市村岡町浄土寺) 大津呂ダム (おおい町本郷) ※H24新設
小 計	31	1	
端 末 局	県出先機関	16	16：健康福祉センター(福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭) 武生福祉保健部、県立病院、越前漁港、福井港湾 敦賀港湾、福井空港、環境センター、防災航空事務所 坂井上水、日野川上水
	市 町	31	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 9旧町：美山、清水、今立、丸岡、三国、永平寺、今庄、越前、上中 5旧村：越廼、和泉、上志比、河野、名田庄
	消防本部	9	9消防本部 (福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭)
	国・公共機関等	15	15：福井気象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ
	小 計		71
衛 星 車 載		1	
可 搬 型 地 球 局		1	
合 計	31	74	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所	
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局(越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、八ツ杉) 土木事務所(勝山、敦賀) 笹生川ダム管	
	第二全県移動	8	県 庁 中 継 局(越知山、久須夜ヶ岳、村国山) 土木事務所(三国、勝山、大野、敦賀)	
	FWA(18GHz)	1	土木事務所(三国)	
	400MHz防災相互	1	防災航空事務所	
	計	21		
携帯基地局(ヘリ用) 260MHzデジタル		5	中継局(越知山、久須夜ヶ岳) 土木事務所(三国、大野、敦賀)	
航 空 局		4	防災航空事務所(可搬用含む)	
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型	47	県庁 3台 土木事務所 42台(福井6台、三国6台、大野4台、勝山3台、武生7台、朝日6台、敦賀4台、小浜6台) 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型	39	県出先機関8台:健康福祉センター(福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭) 県立病院、防災航空事務所
				市9台:福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
				町8台:永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
				消防本部9台:福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 防災関係機関5台:福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
	携帯型	70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台	
	小 計	156		
	第二全県移動局	車載型	17	県庁 14台、奥越合同庁舎、若狭合同庁舎、衛星車載局
		可搬型	5	県庁 5台
		小 計	22	
	FWA(18GHz)	1	陣ヶ岡中継局	
	消 防 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所
		携帯型	8	県庁 2台、防災航空事務所 6台
		小 計	9	
防 災 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
	携帯型	5		
	小 計	6		
計		194		
携 帯 局(ヘリ用)	防災用	1	防災ヘリコプター	
	消防用	1	"	
	小 計	2		
航 空 機 局		航行運航用	1	
簡 易 無 線 局			2	簡易画像伝送装置
合 計			229	



## 2 利用状況

### (1) 一般通話の利用状況

平成23年中

区 分	一年間の総計	一月月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 局	174,980	14,582	(8局) 1,823
合庁・ダム管等局	87,753	7,313	(16局) 457
県出先機関	6,110	509	(15局) 34
市 町	1,168	97	(30局) 3.2
消 防 本 部	323	27	(9局) 3.0
国出先機関	30	2.5	(5局) 0.5
公 共 機 関	111	9.3	(9局) 1.0
原子力発電所	51	4.3	(6局) 0.7
合 計	270,526	22,544	(98局) 230

### (2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成23年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指令回数	190	1,565	644	2,399	636	74	3,109
前年比(%)	154	140	128	138	129	71	133

[指令種別]

平成23年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指令回数	2,456	118	503	335	14	3,426
前年比(%)	136	—	91	66	—	110

(3)一斉指令月別通信回数

区分	23年中												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気警報	9	0	0	0	32	4	30	38	67	0	0	10	190
象注意報	164	132	137	156	107	100	152	204	79	82	118	134	1565
関情報	103	81	81	35	62	28	36	36	55	11	20	96	644
係小計	276	213	218	191	201	132	218	278	201	93	138	240	2399
事務連絡	90	111	98	76	66	36	44	24	32	17	17	25	636
テレスト	8	5	1	0	3	7	0	3	1	8	21	17	74
計	374	329	317	267	270	175	262	305	234	118	176	282	3109
全県	274	225	224	212	218	131	217	266	204	96	140	249	2456
県出先	27	12	2	2	9	9	12	12	7	8	8	10	118
市町	64	72	72	54	49	29	37	35	27	15	20	29	503
消防	50	80	51	8	13	20	30	26	19	9	18	11	335
その他	2	0	0	0	0	3	3	1	2	1	2	0	14
計	417	389	349	276	289	192	299	340	259	129	188	299	3426

3 多重局通信回数集計表

平成23年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	3,073	2,887	3,425	2,853	3,079	3,228	3,218	3,202	3,195	3,129	2,778	2,992	37,059
三国支部	1,421	1,634	1,886	1,443	1,501	1,928	1,678	1,765	1,709	2,012	1,632	1,610	20,219
大野支部	1,200	1,331	1,537	1,341	1,605	1,809	1,641	1,591	1,630	1,642	1,437	1,349	18,113
勝山支部	310	342	369	332	284	358	337	246	303	325	308	291	3,805
武生支部	2,275	2,609	3,038	2,743	3,031	2,891	2,598	2,632	2,562	2,562	2,663	2,328	31,932
朝日支部	1,463	1,570	1,910	1,549	1,811	1,626	1,435	1,290	1,521	1,347	1,277	1,392	18,191
敦賀支部	1,349	1,542	1,837	1,575	1,527	1,777	1,450	1,597	1,658	1,623	1,446	1,410	18,791
小浜支部	1,900	1,931	2,457	2,184	2,319	2,643	2,384	2,324	2,296	2,252	2,177	2,003	26,870
福井合庁	3,248	3,694	4,784	4,054	4,476	4,357	3,816	4,119	3,776	4,050	3,820	3,681	47,875
坂井合庁	1,102	1,232	1,382	1,095	1,185	1,289	1,208	1,302	1,293	1,232	1,261	1,161	14,742
奥越合庁	157	204	451	269	254	324	345	440	376	428	318	329	3,895
南越合庁	863	830	1,013	938	1,069	987	897	963	896	896	980	1,055	11,387
敦賀合庁	50	39	50	47	157	74	61	62	91	82	75	48	836
若狭合庁	0	0	0	3	4	4	4	4	4	3	4	5	35
丹生合庁	345	375	453	328	482	404	386	366	395	472	431	381	4,818
原子力センタ	134	150	242	164	176	146	134	192	192	178	136	134	1,978
菅生川ダム	59	57	63	51	140	138	109	95	196	141	115	110	1,274
広野ダム	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
広野堰堤	9	5	7	6	7	11	8	7	8	6	12	4	90
龍ヶ鼻ダム	36	38	74	41	90	53	48	42	92	64	46	35	659
浄土寺川ダム	0	0	0	0	4	19	11	11	9	15	16	8	93
永平寺ダム	1	3	0	0	1	8	0	0	0	1	0	0	14
菅生川堰堤	0	0	0	0	1	1	3	0	3	2	5	3	18
榑谷ダム	0	2	0	5	1	3	6	3	4	2	7	3	36
計	18,995	20,476	24,978	21,021	23,204	24,078	21,777	22,254	22,209	22,464	20,945	20,332	262,733

## 4 端末局無線通信回数調

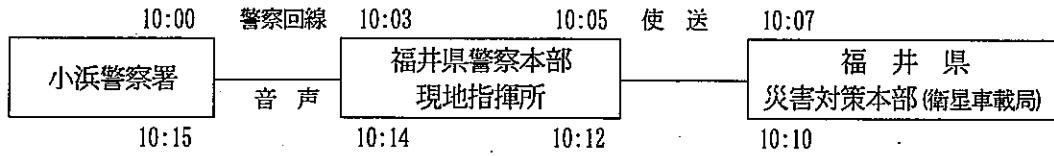
平成23年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	92	衛 生 環 境	2,640	福 井 気 象 台	5
福 井 市 美 山	18	福 井 保 健	102	鯖 江 自 衛 隊	7
福 井 市 清 水	10	坂 井 保 健	108	舞 鶴 自 衛 隊	5
福 井 市 越 廼	14	大 野 保 健	68	敦 賀 海 保	8
敦 賀 市	83	鯖 江 保 健	115	福 井 海 保	5
小 浜 市	76	武 生 保 健	19	国 出 先 計	30
大 野 市	48	二 州 保 健	104	福 井 駅	13
大 野 市 和 泉	15	若 狭 保 健	45	N H K	15
勝 山 市	56	県 立 病 院	226	福 井 テ レ ビ	18
鯖 江 市	47	越 前 漁 港	379	福 井 放 送	16
あ わ ら 市	88	福 井 港 湾	492	F M 福 井	17
越 前 市	37	敦 賀 港 湾	1,667	日 赤 福 井	5
越 前 市 今 立	15	福 井 空 港	36	福 井 県 医 師 会	4
坂 井 市	45	坂 井 上 水	53	福 井 火 力	6
坂 井 市 三 国	15	防 災 航 空 事 務 所	56	福 井 備 蓄	17
坂 井 市 丸 岡	22	県 出 先 計	6,110	公 共 機 関 計	111
市 計	681	福 井 消 防	27	原 電 敦 賀	12
永 平 寺 町	23	大 野 消 防	33	関 電 美 浜	10
永 平 寺 町 上 志 比	9	勝 山 消 防	42	関 電 高 浜	6
池 田 町	27	永 平 寺 消 防	26	関 電 大 飯	7
南 越 前 町	61	嶺 北 消 防	72	原 子 力 機 構 ふ げ ん	6
南 越 前 町 今 庄	11	鯖 江 丹 生 消 防	37	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	10
南 越 前 町 河 野	14	南 越 消 防	28	原 子 力 発 電 所 計	51
越 前 町	75	敦 賀 美 方 消 防	31		
越 前 町 越 前	14	若 狭 消 防	27		
美 浜 町	36	消 防 計	323		
高 浜 町	42				
お お い 町	45				
お お い 町 名 田 庄	12				
若 狭 町	101				
若 狭 町 上 中	17				
町 計	487				
市 町 計	1,168			合 計	7,793

5 非常無線通信実施状況

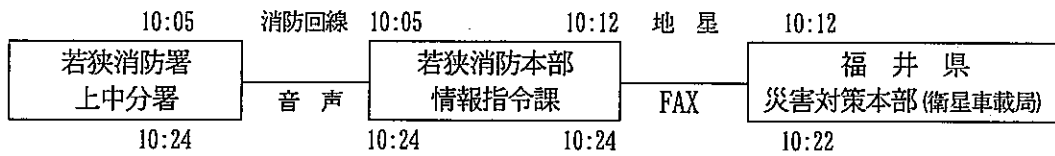
(1) 平成23年度 福井県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成23年8月28日)

- ・小浜警察署から福井県災害対策本部へ往復信



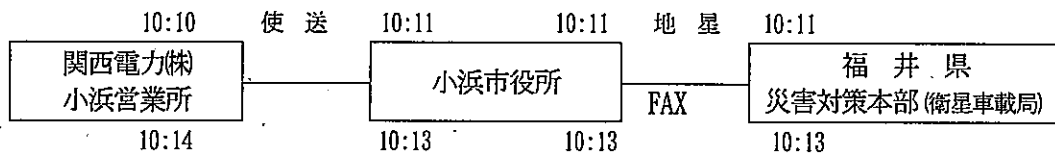
所要時間 往信 7分 復信 5分

- ・若狭消防署上中分署から福井県災害対策本部へ往復信



所要時間 往信 7分 復信 2分

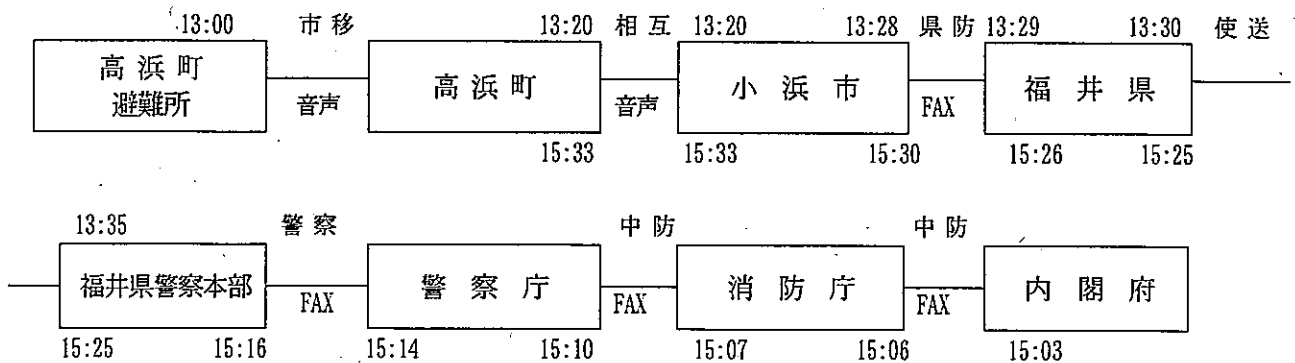
- ・関西電力(株)小浜営業所から福井県災害対策本部へ往復信



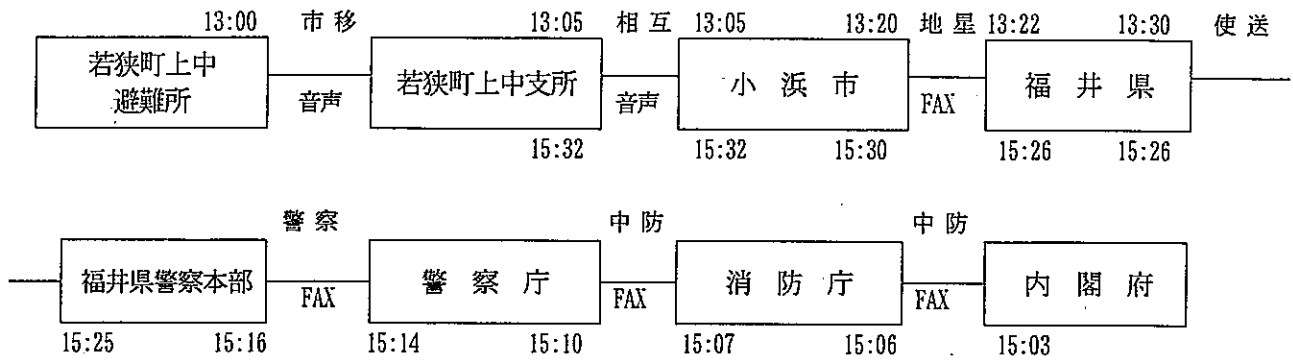
所要時間 往信 1分 復信 1分

(2) 平成23年度 第74回全国非常通信訓練 (平成23年11月16日)

- ・高浜町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信

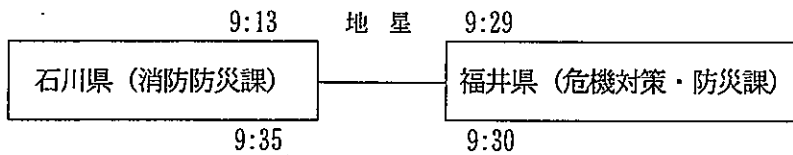


・若狭町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



(3) 平成23年度 石川県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成23年11月23日)

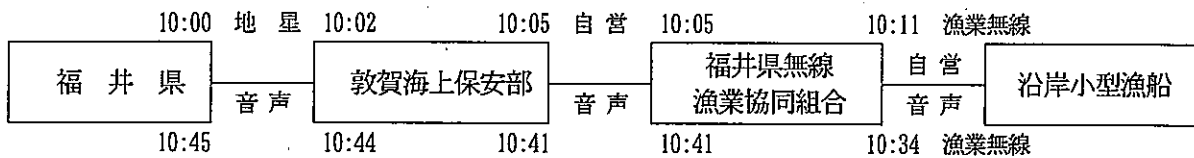
・石川県から福井県あて往復信



所要時間 往信 16分 復信 5分

(4) 平成23年度 福井県原子力防災総合訓練に伴う非常通信訓練 (平成24年3月18日)

・福井県対策本部から福井県無線漁業協同組合へ往復信



所要時間 往信 11分 復信 11分

(5) 防災相互通信用周波数を使用した非常通信訓練（感度交換）（平成23年8月23日～31日）

実施月日	開始時間	免許人	自局（呼出）	相手局（応答）	結果
8月23日(火)	9:00	勝山市	F-4 防災勝山	F-9 防災永平寺支所	5
	9:05	永平寺町	F-9 防災永平寺支所	F-4 防災勝山	1
8月24日(水)	9:00	敦賀市	F-2 防災敦賀	F-12 防災南越前町河野	4
	9:05	南越前町	F-12 防災南越前町河野	F-2 防災敦賀	4
8月29日(月)	16:00	あわら市	F-6 防災あわら市	I-6 防災加賀	5
	16:05	加賀市	I-6 防災加賀	F-6 防災あわら市	5
8月31日(水)	9:00	福井県	F-1 防災福井空港	F-6 防災あわら市	5
	9:05	福井県	F-1 防災福井空港	F-7 防災越前市	1
	9:10	福井県	F-1 防災福井空港	F-8 防災永平寺	5
	9:15	小浜市	F-3 防災小浜	F-14 防災高浜	3
	9:20	小浜市	F-3 防災小浜	F-15 防災若狭上中	3
	9:22	若狭町	F-15 防災若狭上中	F-3 防災小浜	4
	9:25	鯖江市	F-5 防災鯖江	F-7 防災越前市	5
	9:30	あわら市	F-6 防災あわら市	F-1 防災福井空港	5
	9:35	あわら市	F-6 防災あわら市	F-8 防災永平寺	4
	9:45	越前市	F-7 防災越前市	F-1 防災福井空港	5
	9:50	越前市	F-7 防災越前市	F-5 防災鯖江	5
	9:55	越前市	F-7 防災越前市	F-11 防災南越前町	5
	10:00	越前市	F-7 防災越前市	F-13 防災越前朝日	5
	10:05	永平寺町	F-8 防災永平寺	F-1 防災福井空港	1
	10:10	永平寺町	F-8 防災永平寺	F-6 防災あわら市	1
	10:15	南越前町	F-11 防災南越前町	F-7 防災越前市	5
10:20	越前町	F-13 防災越前朝日	F-7 防災越前市	5	
10:25	高浜町	F-14 防災高浜	F-3 防災小浜	3	

【結果の表記方法】

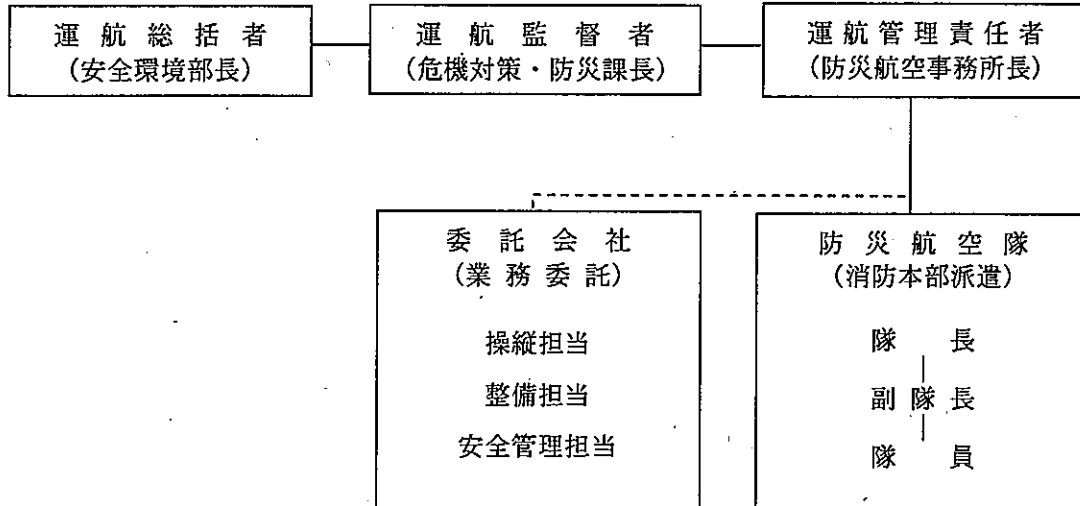
5:極めて良好に通話可能, 4:雑音が小さく良好に通話可, 3:多少の雑音で実用可能, 2:通話はできるが実用にはならない, 1:通話不能で全く実用にならない

## 第5章 防災ヘリコプターの運航体制

### 1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

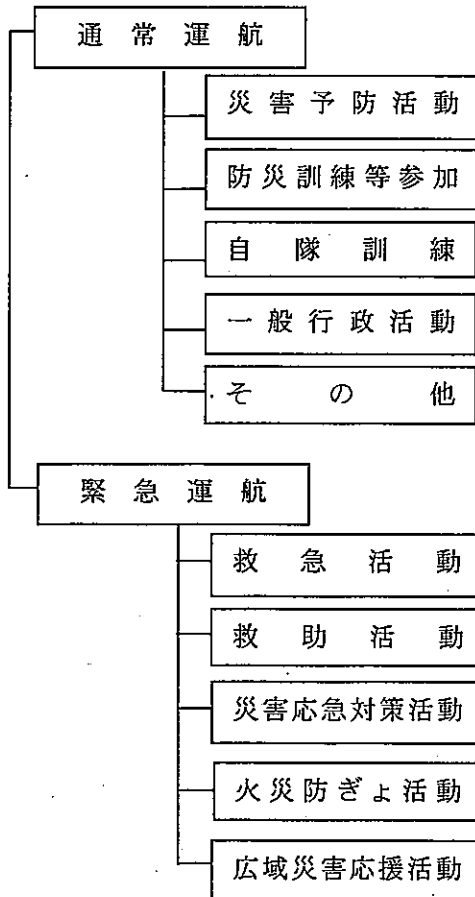
### 2 組織図



### 3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで  
 (ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

### 4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-1
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384 SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,350kg
最大搭載可能重量	1,586kg
航続距離（機外タンク使用）	740km
担架搬入装置	4基
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,300kg
全長	13.00m
全高	3.85m
最大速度	278km/h
航続時間	3.3h
着陸方式	スキッド方式



第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

平成24年3月31日現在

区分	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防衛	広域災害応援	計	自隊訓練	防災訓練参加	危険箇所調査	災害予防活動	一般行政	整備		その他
平成14年度	18 件数	21 24:45	3 4:55	1 0:10	4 7:52	47 52:56	91 110:01	57 48:39	10 11:50	5 8:55	25 26:29	4 1:30	4 9:02	243 269:22
平成15年度	25 16:10	29 16:20		1 0:35	2 2:15	57 35:20	140 180:41	58 51:55	6 7:20	7 12:35	19 19:46	3 7:07	5 2:20	295 317:04
平成16年度	32 23:17	32 36:59	5 13:00	5 5:27	9 19:22	83 98:05	91 109:25	44 38:15	7 9:23	2 6:12	7 10:05	7 10:20	3 2:02	244 283:47
平成17年度	36 27:24	27 18:46		4 4:09	8 11:19	75 61:38	98 135:21	38 30:20		6 11:30	11 13:07	5 7:40	2 1:26	235 261:02
平成18年度	35 25:00	26 27:31	4 3:26		1 1:08	66 57:05	96 131:13	43 37:04		3 5:00	16 19:28	6 2:09	3 2:19	233 254:18
平成19年度	36 18:15	37 40:29		3 8:27	2 1:02	78 68:13	107 148:44	60 58:03		3 11:15	9 7:32	19 18:04	6 5:17	282 317:08
平成20年度	34 30:41	27 19:05			7 7:30	68 57:16	96 122:16	48 39:54		3 11:17	7 6:22	12 9:36	12 14:09	246 260:50
平成21年度	21 7:36	28 23:32		3 1:01	15 31:21	67 63:30	82 127:17	45 34:06		3 10:49	4 3:17	10 10:03	4 4:42	215 253:44
平成22年度	22 9:31	26 19:26			15 21:26	63 50:23	128 162:56	40 30:53		4 10:24	3 4:57	4 7:21	3 2:46	245 269:40
平成23年度	25 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46	39 29:10		4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、航空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

## 第6章 衛星車載局の運用体制

### 1 収 容

福井県消防学校内

### 2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	—	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	—	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整	2名 1名
	—	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

### 3 運 用

#### 非常時の運用

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

#### 平常時の運用

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

### 4 主な仕様

#### <アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径 1.8m
駆動部	電動/手動	
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能	

#### <送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

#### <端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	一斉指令用	1CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH
	デジタル画像(準動画)用	1CH
デジタル画像変復調部	動 画：6 Mbps	
	準動画：64 kbps / 384 kbps 切替可能	

#### <一斉指令装置>

一斉指令	衛星系端末局向けに音声・FAXによる発令可能
種 別	全対象局一斉、全市町村一斉、全消防一斉、地域/区分指定、個別局指定

#### <その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
第二全県移動車載型無線装置	150MHz 複信方式 (または半複信方式)
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送